



自動アクションの
実行

ハウツーガイド

4.5

プライバシーマスクを 自動的にオン/オフにする

AXIS Optimizer for Milestone XProtect®

AXIS[®]
COMMUNICATIONS

手順：

プライバシーマスクを自動的にオン/オフにする

AXIS Optimizerでは、カスタムルールを設定して、分析メタデータに基づいてプライバシーマスクを自動的にオンまたはオフにしてイベントをトリガーするなど、リアルタイムのイベントへの応答として自動アクションを作成することができます。

要件

- 以下のいずれかを選択してインストールします。
 - Milestone XProtect Express+
 - Milestone XProtect Professional+
 - Milestone XProtect Expert
 - Milestone XProtect Corporate
 - Milestone XProtect Essential+
- Management Clientに最新バージョンのAXIS Optimizerをインストールします。
- ファームウェアバージョン7.40以降のAxisカメラ
- AXIS Object Analyticsなどを介してイベントを生成できるカメラ

分析シナリオを設定する

- 1 [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [AXIS Optimizer] → [Device assistant (デバイスアシスタント)] に移動し、使用する分析機能を搭載したデバイスを検索します。
- 2 [Applications (アプリケーション)] をクリックし、アクションをトリガーする分析シナリオを作成します。
- 3 [Devices (デバイス)] → [Cameras (カメラ)] に移動し、分析シナリオを作成したカメラを検索します。
- 4 [Properties (プロパティ)] ウィンドウで、[Events] → [Add (追加)] をクリックします。
- 5 ドライバーイベントを選択します。この例では「Object Analytics: Event test Rising (オブジェクト分析: イベントテスト上昇)」を選択し、[OK] をクリックします。
- 6 [Add (追加)] をクリックし、ドライバーイベント「Object Analytics: Event test Falling (オブジェクト分析: イベントテスト下降)」を選択して [OK] をクリックします。
- 7 [Save (保存)] をクリックします。

関連するカメラにオペレーターコントロールを追加する

- 1 [AXIS Optimizer] → [Operator controls (オペレーターコントロール)] に移動し、コントロールライブラリを開きます。
- 2 [Configuration (設定)] ウィンドウで、該当するフォルダーを選択し、[Turn off privacy mask (プライバシーマスクをオフにする)] と [Turn on privacy mask (プライバシーマスクをオンにする)] の両方を有効にします。



アクションプリセットを作成する

- 1 [Rules and Events (ルールとイベント)] → [Axis actions (Axisアクション)] に移動し、[Add new preset (新規プリセットの追加)] をクリックします。
- 2 [Cameras (カメラ)] をクリックし、該当するカメラを選択します。続いて、[Turn on privacy mask (プライバシーマスクをオンにする)] コントロールを選択します。
- 3 [Add new preset (新規プリセットの追加)] → [Cameras (カメラ)] をクリックし、該当するカメラを選択します。続いて、[Turn off privacy mask (プライバシーマスクをオフにする)] コントロールを選択します。

プライバシーマスクをオフにするルールを作成する

- 1 [Site Navigation (サイトナビゲーション)] → [Rules and Events (ルールとイベント)] に移動し、[Rules (ルール)] を右クリックします。
- 2 [Add Rule (ルールの追加)] を選択して名前 (この例では「Turn off privacy mask on analytics (分析時にプライバシーマスクをオフにする)」) を入力します。
- 3 [Perform an action on <event> ((イベント) でアクションを実行する)] を選択します。
- 4 [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] フィールドで、[event (イベント)] をクリックします。[Devices (デバイス)] → [Configurable Events (設定可能なイベント)] に移動し、[Object Analytics: Event test Rising (オブジェクト分析: イベントテスト上昇)] を選択します。
- 5 [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] フィールドでデバイスを選択します。
- 6 [Next (次へ)] を、[Step 3: Actions (ステップ3: アクション)] が表示されるまでクリックします。
- 7 アクション [Axis: Run operator control: <preset> (Axis: オペレーターコントロールの実行: (プリセット))] を選択します。
- 8 [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] フィールドで [Preset (プリセット)] をクリックし、ターゲット [Turn off privacy mask on 2 cameras (2台のカメラでプライバシーマスクをオフにする)] を追加して [OK] をクリックします。
- 9 [Finish (終了)] をクリックします。

プライバシーマスクを再度オンにするルールを作成する

- 1 [Add Rule (ルールの追加)] を選択して名前を入力します。この例では「Turn on privacy mask on analytics stop (分析の停止時にプライバシーマスクをオンにする)」を入力します。
- 2 [Perform an action on <event> ((イベント) でアクションを実行する)] を選択します。
- 3 [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] セクションで、[event (イベント)] をクリックします。[Devices (デバイス)] → [Configurable Events (設定可能なイベント)] に移動し、[Object Analytics: Event test Rising (オブジェクト分析: イベントテスト上昇)] を選択します。
- 4 [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] セクションでデバイスを選択します。
- 5 [Next (次へ)] を、[Step 3: Actions (ステップ3: アクション)] が表示されるまでクリックします。
- 6 アクション [Axis: Run operator control: <preset> (Axis: オペレーターコントロールの実行: (プリセット))] を選択します。
- 7 [Edit the rule Name and Description (ルールの「名前」と「説明」の編集)] セクション [Preset (プリセット)] をクリックし、ターゲット [Turn on privacy mask on 2 cameras (2台のカメラでプライバシーマスクをオンにする)] を追加して [OK] をクリックします。
- 8 [Finish (終了)] をクリックします。

使用開始のサポート資料

AXIS Optimizerハウツービデオを視聴する

オンラインユーザーマニュアルを見る

その他のハウツーガイドをダウンロードする

AXIS Optimizer使用開始ガイドを読む

特定の作業に対するステップバイステップのワークフローは、変更される場合があります。最新の説明については、[オンラインユーザーマニュアル](#)を参照してください。

自動アクションによる応答 時間と精度設定の向上

リアルタイムイベントの管理には手動操作が伴うため、ミスや遅延が発生するリスクが高まります。プライバシーマスクをオンにするなどのアクションの実行は面倒に感じる場合があります。なぜなら、この種のアクションは一度に1台のカメラに対して手動で行わなければならない、時間がかかり単調な作業であるためです。また、システムの規模が大きくなるほど接続されるデバイスの数が増え、より多くの時間と労力が必要になります。このようなリアルタイムのイベントにタイムリーかつ適切に対応できなければ、マイナスの影響が生じる可能性が高くなります。例えば、カメラのレンズに雨がかけると、ビデオの画質が低下する可能性があります。

AXIS Optimizerがこの問題をどう解決するか

イベントサーバープラグインは、AXIS Optimizerインストーラーに含まれるオプションのコンポーネントで、Milestone XProtectイベントサーバーにインストールされます。このイベントサーバープラグインを使用すると、特定のルールアクションを作成し、1台以上のAxisデバイスに実装することができます。システム管理者は、Axisデバイスで自動アクションを実行するためのカスタムルールを素早く設定し、オペレーターの作業を簡素化することができます。タスクに応じて、オペレーターの操作なしで、またはオペレーターがSmart Clientのボタンをクリックしたときに、自動アクションを実行するように設定できます。

AXIS Optimizer for Milestone XProtectについて

AXIS Optimizerは、Milestone XProtectにおけるAxisデバイスのパフォーマンスを最適化する統合のスイートです。すべてのユーザーがAxisとMilestoneのシステムを最大限に活用しながら、時間と労力を大幅に削減することができます。新しいAxis製品に対応できるように継続的に更新されます。更新版は、axis.comからワンタイムインストーラーとして無料でご利用いただけます。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティとビジネスパフォーマンスを向上させるソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークテクノロジー企業として、また業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、アクセスコントロール、インターコム、音声システムなどに関連するソリューションを提供しています。これらのソリューションは、インテリジェントアプリケーションによって強化され、質の高いトレーニングによってサポートされています。

Axisは50ヶ国以上に4,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のテクノロジーパートナーやシステムインテグレーションパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、本社はスウェーデン・ルンドにあります。